



USER PRODUCTIVITY KIT

Oracle User Productivity Kit 3.5 の新機能

オラクルは Oracle User Productivity Kit (UPK) 3.5 を発表いたします。今回のリリースでは、お客様およびパートナーの皆様からの要望や、テクノロジーおよびその分野の専門知識に基づき、多くの新機能が採用されています。Oracle UPK は、ユーザビリティ、パフォーマンスおよびスケーラビリティの強化を含む、豊富な新機能を提供します。

新機能	説明/利点
ドキュメントデザインのカスタマイズ	企業はビジネスの必要性に応じてドキュメントをカスタマイズすることで、ドキュメンテーションの差別化を図ることができます。ユーザーは企業の標準手順に習熟し、組織は企業のブランド標準を容易に維持するとともに、あらゆるプロジェクト・ドキュメンテーションについて、新規のドキュメントの作成および既存のドキュメントの変更を行うことができます。
IEベースのアプリケーションでのコンテキストの自動キャプチャ	UPKの以前のバージョンでは、オラクルおよびSAPアプリケーションの場合にのみ、レコーディング・セッション中にコンテキスト情報をキャプチャすることで、状況依存ヘルプを提供し、継続的なパフォーマンス・サポート・コストの低減を実現していました。新しく追加されたSmartMatch機能により、すべてのInternet Explorerブラウザ・アプリケーションで同様のコンテキスト情報のキャプチャが可能になったため、ブラウザベースのアプリケーションで状況依存ヘルプが使用可能になりました。
フレームのコピーおよび貼り付け	ユーザーはフレームのコピーおよび貼り付け機能を使用し、トピック間でコンテンツを再利用することで、コンテンツ作成時間を大幅に短縮できます。
Print It!モード	コンテンツ開発者は印刷可能なジョブ・エイドまたはシステム・プロセス・ドキュメントを自動的に組み込むように選択することで、ジャストインタイム・サポートを実現できます。この新しいモードにより、時間が節約されるうえ、ユーザーは重要なドキュメンテーションに簡単にアクセスできるようになります。
追加の言語: フィンランド語、トルコ語、ポーランド語、ロシア語、ハンガリー語、繁体字中国語、韓国語	Tier2の提供言語のリストにフィンランド語、トルコ語、ポーランド語、ロシア語、ハンガリー語、繁体字中国語、韓国語が追加され、提供言語の数は21になりました。
モジュールおよびセクションへのキーワード、ロールおよびコンテキストの追加	コンテキストも含めて、トピック以外のアセットを目次に挿入できるようになり、使用可能なコンテンツのタイプが広がりました。この柔軟性により、複数のタイプのコンテンツの表示が可能になり、ユーザーの学習効果が向上します。



ライブラリのセキュリティ	フォルダに対する読取りおよび書き込みアクセスを管理します。組織全体にわたりコンテンツへのアクセスを制御できるため、開発者は自分に割り当てられた業務に専念できます。この機能はデータの正確性と効率性の向上に役立ちます。
ターゲット・アプリケーションの追加	AgileおよびJDE Worldがターゲット・アプリケーションに追加されました。
カスタマイズ可能なライブラリ・ビュー	ユーザーは、ライブラリにフィルタを適用し、データの分析またはプロジェクト状況のチェックを行います。カスタム・ビューの最大の目的は、ユーザーが求める方法で、また、ユーザーのビジネス要件を満たすために必要とされる方法で情報を表示することです。
自動レコーダ	コンテンツ開発者はコンテンツ化対象のアプリケーションを操作するだけでレコーディングを行えます。
サウンド機能の向上	mp3圧縮ファイルのサポートにより、ファイルおよびコンテンツ全体のサイズを削減できます。さらに、サウンドのエクスポートおよびインポート機能が強化されました。
再レコーディング機能の強化（挿入およびスキップ）	フレームの挿入およびスキップ機能を使用し、再レコーディング・プロセス中に更新が必要なフレームのみを対象とすることで効率を向上します。
Playerの目次のデザイン変更	Playerの目次が新しくなり、さらにビジュアルで使いやすいものになりました。アイコンも強化されました。再生モードとコンテンツの関連付けが緊密になり、使用可能なモードのみが表示されます。また、トピックを選択するとデフォルト・モードが起動されます。
Playerでの拡張検索	ロール・フィルタ、適用可能フィルタ、および検索機能の任意の組合せを利用することで、検索効率を向上できます。
Direct Do It!	トピック検索結果が1件の場合は、Direct Do It!によりDo It!モードを即時に起動することで、より少ないクリック数でコンテンツを表示できます。1つのトピックを表示するために目次を開く必要はありません。
HP Quality CenterのXLS出力	HP Quality Centerのテスト・スクリプトが.xls形式でエクスポートされるようになりました。
Enablement Pack - パッチ・サポート	完全なリリースではなく、より小規模なパッケージまたは「パッチ」により、UPKを段階的に更新できます。
ステータスに基づくパブリッシング	コンテンツ開発者は、ロール別のパブリッシングに加えて、ステータス別にアウトラインまたは選択をパブリッシュすることで、プロジェクトの状況を追跡できます。
Firefox 3.0のサポート	Firefox 3.0ブラウザのサポートにより、ユーザー・コミュニティを拡大し、ユーザーの受入れを促進できます。

Copyright © 2009, Oracle. All rights reserved.

この文書はあくまで参考資料であり、掲載されている情報は予告なしに変更されることがあります。また、本ドキュメントは、法律で明示的または暗黙的に記載されているかどうかに関係なく、商品性または特定の目的に対する適合性に関する暗黙の保証や条件を含む一切の保証または条件に制約されません。オラクル社は、本書の内容に関していかなる保証もいたしません。また、本書により、契約上の直接的および間接的義務も発生しません。本書は、事前の書面による許諾を得ることなく、電子的または機械的に、いかなる形態または手段によっても複製または伝送することはできません。

Oracle は米国 Oracle Corporation および関連会社の登録商標です。他の製品名は、それぞれの所有者の商標です。

ORACLE